|洞爺総合センター図書室

りりたけ

このほん

かげやまとおる



ひとりの男の子はお気に入りの 書店さんで「ある絵本」が目にとま りました。なぜか前見返しに大きな 穴が空いていて、男の子はたまらず その絵本を手にとると、絵本が大き く広がって男の子を飲み込んでし まいました。いったい男の子はどこ へ… (あぶた読書の家所蔵)

(東野圭吾)

▽夜明

げ

0)

は 殺

あ 0)

つ

l)

う

間

0

1

年

(町田そのこ)

]

マンと名もなき町

0

ぞれ

良さを感じながら

伊岡

[瞬)

▽ブラッ

ク・

洞爺湖の

春夏秋冬それ

あぶた読書の家

(276-2100)

[時間] 10 時~ 16 時 30 分 [休館日] 木曜日、祝日

みずうみ読書の家(☎76-2100(あぶた読書の家)) [時間] 9時~17時 [休館日] 木曜日、祝日

洞爺総合センタ-室書図-(**2** 82-5111)

[休館日] なし 9時~16時30分

> 新 刊 案

> > 内

あ iŠi た読書の家

木るり 嵐貴久) 七里七 \prod 子) ▽ひとり旅日和 幸来る! 田瞳子) ▽平家物語 田そのこ) ▽月ぞ流るる 1 ル (秋川滝 山 (ゆう)▽夜明けのはざま 里 (秋吉理 糸 (今野敏) 本 重 ▽こちら空港警察 か ∇ 般 力 美) \bigvee · た す ٧ (香子) 絡新婦の糸 \bigvee · ▽ 星 に ▽星を編む ∇ ∇ >無人島 分録 \bigvee 鋼 ・椿ノ恋文 0 台北アセッ 願 天神参り 絆 ロワイヤ (林真理 61 <u>£</u>. を 中山 (澤 屈 町 + ショ 0 ラウンド 山 田 海

ぐち ざまの てくる こぺこキャンプ(工藤 たけ) ドラキ 児童書 大ピンチずかん2 野栄子 ひろろ 0) 万華 ノラネコぐん 城 る ∇ み ٧ で ユ おふろさん -鏡写真館 ーラの ▽だんだん ∇ L ▽どんな 浦正 お よう? マ ば 幸) マ け だだん (鈴木の (廣嶋玲 パノリコ のあ 0) くる マは パでき (せき P ~ こう ざま らも ケエ かい たい

般 ٧ ∇ Ш も 涙 も あ

詠

美

マ八

月

の

所

ケ

えていただいたり、

様

マな

昔の洞爺湖のことなどを教

た。地

元ならではの情報

万々との出会いがありまし

ントなどを通じて、

勤務先の

水の駅

かやイベ 多くの

(万城目学)

 \bigvee 御

奔流

経験をすることができまし

絵本の玉手箱 4月のおはなし会

■日 時 ①4月22日(月)10時~11時30 分②4月19日(金)14時~15時30分

①あぶた母と子の館②あぶた読 ■場が 書の家

キッズタイム

■日 時 4月20日(土)10時~11時30分

■場 所 あぶた母と子の館

が経

過 移

ようとして

いま

住

7

か

5

1

车

した。 支援、

力を

17

ただきま

■対 象 乳幼児および保護者 ■問合せ 佐藤 (全76-2487)

がっこう ぱ(あべけんじ)▽ぼくはい **<児童** ンチず 大ピンチず \tilde{O} シンスケ) どこにいるんだ (あだちなみ) か 書V▽りんごりら ヤツ (あだちなみ) ジャッキ キー (鈴木の かん2 ▽くまの のうんどう ▽きまの り (ヨシタ のたか たけ がっつ

> 年 5 月 13 洞 爺 湖 町

域 お 力隊

地

通信 Vol.71

今月の リポーター



です。 れた西い \mathcal{O} だったと感じています。 力隊ネッ 一月末に豊浦町にて開催さ 町だけ お祭り す。 G 特に印象的だったのが、 は が ちきおこ ぶり地 め各関係者様 企 でなく西い トワ ちきおこ祭り ークによる初 したイベント 祭りは洞爺 域おこし協 ぶりの В

着任

L

)ます。

で皆

る

月より新し

い協力隊

が

様とお会いす

、ます。

今後とも ることが 様々な形

地 あ

協力隊をよろしく

ます

などの 湖は います。 動を知 だいた方々に自分たち が溶けたら遊びに行く したが、 機会として積極的 PRや自分を知ってもらう 産 を開催できたことはとて ただきました。 7 有意義な時間になっ 各自治体が協力しイベント いきたいと思います 品 私 ζ? ζ? は当 嬉しいお声がけ ってもらえたこと、 今後も洞 巨 ところだよね」 お客様から スを担当 洞 ご来場 爺 に参 爺湖 湖 たと思 7 町 いた 0 0 を 洞 加 町 17 ね ŧ 雪